

審判員の心得

(ジムエバンス・アンパイアクリニックより)

◆心得

- 1) 審判員同士はチームであること。
- 2) 審判員は試合進行のコントロールができること。
- 3) 審判員は尊敬されるようになること。
- 4) 審判員は監督、コーチ、選手たちに敬意を表すこと。
- 5) 審判員は一球、一球 最後の一球まで集中すること。
- 6) 審判員の仕事(見せ場)は難しいプレーを裁く時にある。
- 7) 審判員は間違いを恐れないこと。(間違いを繰り返さないこと)

◆裁定に対する心得

- 1) プレーを読むこと。但し、結果は決めつけないこと。
- 2) 正しい角度と距離がプレーを見る正しい位置である。
- 3) 距離よりも角度の方が重要である。
- 4) 正しいポジションをとるためには、プレーまでの時間を上手く使うこと。(ボール、野手、走者、パートナーの流れを読むこと)
- 5) 3つのポジション
 - ①視野を広く見るためのポジション(スタンディングポジション)
 - ②プレーを見るためのポジション(ハンズオンニーズセット)
 - ③修正されたポジション(プレーが崩れた場合の動き)
- 6) 裁定は頭の中で、シグナルは動作で
- 7) イージーなプレーが最後までイージーなプレーで終わるとは限らない。